

# ハヤチネウスユキソウ誕生80年記念

ウスユキソウの仲間たち

レブンウスユキソウ

(北海道礼文町 町の花に指定)

オオヒラウスユキソウ

(北海道島牧村 村の花に指定)

コマウスユキソウ

(長野県宮田村 村の特別シンボル)

ハヤチネウスユキソウ

(岩手県花巻市 市の花に指定)

ミヤマウスユキソウ

ホソバヒナウスユキソウ

ミネウスユキソウ

カワラウスユキソウ



# うすゆき草サミット in はなまき

平成27年

7月11日(土)

## ■大迫交流活性化センター

開会セレモニー……………13:00～13:30

大迫アルプホルンクラブによる演奏

基調講演会……………13:40～14:40

「(仮題)高山植物から環境へのメッセージ」

岩手県立大学総合政策部教授 渋谷晃太郎氏

パネルディスカッション……………14:50～16:20

記念メッセージ発信

早池峰愛護少年団(内川目小学校児童)…16:20～16:30

交流会……………18:00～19:30

(会員制による事前申し込みが必要です)

7月12日(日)

## ■登山コース

『浅沼利一郎氏ガイドによる早池峰山交流登山』

(事前申し込みが必要です)

## ■神楽鑑賞コース

『神楽の日』鑑賞 大償神楽……………11:00～

大迫交流活性化センター

※サミットのパンフレット提示で鑑賞料金を御優待します。

## ■花巻市総合文化財センター見学コース

※サミットパンフレット提示で入館無料。

主催：花巻市

問い合わせ

花巻市大迫総合支所TEL0198-48-2111

## ハヤチネウスユキソウ物語

早池峰山を代表するハヤチネウスユキソウは、最初はミヤマウスユキソウの大形の花と考えられていました。明治42年(1909)にスイスのボーベルが、北海道礼文島のレブンウスユキソウを発表し、ハヤチネウスユキソウはその同一種と考えました。

明治44年(1911)武田久吉は、ヨーロッパアルプスに咲くエーデルワイスの変種として発表。翌年には武田・ボーベルの共同研究により、レブンウスユキソウの変種と訂正されました。

昭和10年(1935)になって、北村四郎・原寛の両氏の研究により、レブンウスユキソウから区別され、早池峰山の固定種として独立することになったのです。



### 7月11日(1日目)

#### - 大迫交流活性化センター -

- ①開会式典 13:00 ~ 13:30  
・大迫アルプホルンクラブによるオープニング
- ②基調講演会 13:40 ~ 14:40
- ③パネルディスカッション 14:50 ~ 16:20
- ④記念メッセージ朗読  
・「ハヤチネウスユキソウ誕生100年は我らの手で」  
早池峰愛護少年団(内川目小学校児童)
- ⑤交流会 18:00 ~ 19:30  
・交流会(会費制による事前申し込みが必要です)

### 7月12日(2日目)

#### - 登山コース -

浅沼利一郎氏のガイドによる早池峰山への交流登山  
※浅沼利一郎氏：早池峰登山3,000回を超える  
仙人的存在！ とっておきの  
案内が期待できます。

#### - 神楽鑑賞コース -

大迫交流活性化センターにて「神楽の日」鑑賞  
※ユネスコ無形文化遺産登録  
「早池峰神楽」大償神楽  
※サミットのパンフレット提示で鑑賞料金を  
御優待します。

### 【講師プロフィール】

#### ●岩手県立大学総合政策部教授 渋谷 晃太郎 氏

専門分野：環境政策・自然公園・森林環境・環境教育・エコツーリズム

経歴：環境省のレンジャーとして、日光・上信越高原(戸隠)・知床・箱根・十和田八幡平・陸中海岸・大山隠岐・山陰海岸・釧路湿原・阿寒の各国立公園の保全管理を担当。また、公園利用施設の整備、シマフクロウなど希少種の保護増殖事業、釧路湿原自然再生事業、インタープリテーション(自然解説)、白神山地・知床世界自然遺産地域の保全管理などに尽力。

### 花巻市大迫交流 活性化センター

